

低温工学・超電導学会 2021年度第4回材料研究会のご案内

震災から11年目をひかえ、福島復興に向けての社会的状況や、必要とされる技術的ニーズは大きく変化してきています。そこで、今現在の福島の現状と今後求められる技術、そしてその中での超電導技術の位置づけに関する講演会とディスカッション、並びに福島第一原子力発電所の廃炉、周辺地域の廃棄物処理の現場視察を行います。多数のご参加をお待ちいたしております。

■**テーマ**：福島復興に向けた技術的・社会的課題と超電導技術の適用可能性

■**日時**：2022年3月4日（金）～5日（土）

■**場所**：見学会（1日目）：福島第一原子力発電所の見学、廃棄物処理・再生利用の実証実験現場などを検討中（状況によっては中止）

シンポジウム（2日目）：福島市内あるいは郡山市内で開催（オンライン参加可）を予定。
状況によっては完全オンライン開催。

■**参加費**：無料（ただし見学会のお弁当代1,000円程度の実費はご負担いただきます。）

■**プログラム**（見学は予定）：

3月4日（金）見学会：

福島第一原子力発電所の見学、廃棄物処理・再生利用の実証実験現場などを検討中

3月5日（土）シンポジウム：

超電導技術を利用した廃棄物処理、放射線計測、生体影響関連の講演とディスカッション

9:30～9:40 開会の挨拶（材料研究会）

9:40～10:20 講演① 株式会社大林組 堀江 裕貴様

「除染廃棄物由来溶融スラグの再生利用技術の実証」

10:20～11:00 講演② 福島大学環境放射能研究所 鳥居 建男特任教授

「福島の環境回復と廃炉に向けた放射線分布の計測・マッピング技術」

11:00～11:10 休憩

11:10～11:50 講演③ 株式会社千代田テクノル 特別顧問 杉浦 紳之様

「住民の被ばく線量測定とリスクコミュニケーション」

11:50～12:20 総合討論

12:20～12:30 閉会の挨拶（関西支部）

共 催：低温工学・超電導学会 関西支部、電気学会「磁気力を活用した新たな環境技術のフィージビリティと超電導の役割」調査専門委員会

オーガナイザー：材料研究会 秋山 庸子（大阪大）、酒井 保藏（宇都宮大）

申し込み方法：下記のフォームまたはQRコードにて2月11日（金）までにお申し込みください。

<https://forms.gle/RoTb6maNdsyCH1qu5>

お問合せ先：秋山 庸子 yoko-ak@see.eng.osaka-u.ac.jp

お申込フォーム→

※最新情報は、下記HPをご覧ください。

<https://sites.google.com/view/fukushimatour2021/>

*見学に関しては、定員に達した場合、締め切らせていただく場合がございます。

*見学会でのお弁当代に関しては領収書の発行はいたしませんのでご了承ください。

